

令和2年度 (2020年度)

事業報告書



- 前 文
- ・ 法人 運 営
 - ・ 施設事業運営
 - ・ 地域との関連
 - ・ 会 計
 - ・ 添 付 書 類

社会福祉法人 正和会

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 正和会

★前文

きめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園、確かな保育理念と熱い情熱を持った保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともには保護者から大変に高い評価を得るとともに、『保育園まるごとランキング』という保育園のランキングサイトにおいて、小平市の『保護者の評判の高い保育園』第2位と5位にランキングされるなど、高い評価を受けるようになっている。

しかしながら、今年は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言にともない、年度当初の4月と5月が『登園自粛』になり、さらにその後もクラス懇談会や親子遠足といった行事が中止になる等これまでとは全く異なる日常となってしまった。そんな中で、子ども達の笑顔のために何が出来るかを職員一同で考え、知恵を絞りながら保育を行ってきた。

1. 法人運営

(1) 実施事業

当法人は、児童福祉法に基づき子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ児童の福祉を積極的に増進し、併せて地域における全ての子育て家庭に対して育児・子育ての支援を行うため、次の社会福祉事業を行いました。

◆ 第二種社会福祉事業

1. 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員

2. 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-11-26
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

令和2年度は3回の理事会を開催した。

- ・ 6月 1日 令和元年度事業報告及び決算計算書類の承認、
令和元年度会計監査結果の報告の承認
定時評議員会の開催の省略についての承認

- ・ 9月 5日 補正予算の承認、
事業及び予算の執行状況報告
- ・ 3月13日 令和2年度事業計画及び予算の承認、
経理規定の一部変更の承認
理事長の職務執行状況の報告

2. 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	106
1歳児	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
合計	40	38	38	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	466

イ、健康管理

1. 健康診断

年間計画に沿って定期健康診断 24 回、および 1 回の新入園児健康診断を実施した。
基本的に第 2、4、5 月曜日が実施日となっている。

0 歳児の保護者には、ひと月に 1 回は受けていただくよう促し、実施日の少ない月は予めお伝えすることとしている。

2. 歯科検診

6 月と 12 月の 2 回の健診を実施した。

検診の結果 うさぎ組：0 歳児 あひる組：1 歳児 きりん組：2 歳児

- ・ 0、1 歳児のむし歯保有者はいなかったが 2 歳児はむし歯のある児が 2 名いた。
口腔清掃状況も「良い」、「普通」でした。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。
- ・ 0 歳児：仕上げ磨きの練習も 0 歳児では、最初、口を開けることを嫌がる児もいたが、一年を通して慣れ、終盤には全員嫌がることなくできた。
- ・ 1 歳児：1 名、反対咬合の診断あったが経過観察となっている 12 月の検診時には改善しているとのこと。
- ・ 2 歳児：むし歯の指摘は 6・12 月共に同じ児で 2 名みられたが、開口や反対咬合の指摘はなかった。

3. 腸内細菌検査

4 月・10 月の年 2 回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0 歳児担任、フリー保育士、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。

結果は年間を通して全職員陰性であった。

4. 職員検診

9～11 月の 3 ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。
生活習慣病健診対象者 5 名、法定健診対象者 13 名であった。

また全職員、血液検査と心電図の検査項目を追加して行った。
雇入れ時健診も入職者全員に対して実施した。

5. ほけんだより

年間で16回の保健だよりを発行した。

6. 保健指導

6月：歯科検診にて絵本の朗読実施した。「ぱくぱくたべたらはみがきだ！」と題して、虫歯予防・歯磨き指導を行った。

12月：歯科検診にて、「はみがきまんとかんぱんまん」の紙芝居を朗読し、虫歯予防・歯磨き指導を行った。

7. ひめゆり広場事業での保健活動

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「わくわくひめゆり」は開催しなかった。

8. 内服薬と薬状況

【投薬に関する特記事項】

- ・熱性けいれんを起こした児が医師の指示と保護者の要望によりダイアップ預かりとなり、発熱37.5℃以上で使用した。

9. 病気欠席状況

<感染症など>

- ・RSウイルス感染症：2歳児で2月に多くみられた。
- ・伝染性紅斑：1歳児で9月に流行した。
- ・インフルエンザは、A型、B型ともに流行しなかった。

10. 怪我等への対応

擦り傷、切り傷、打撲、鼻出血等、軽症のものは日常的にあったが、それぞれ、洗浄、止血、ワセリン塗布、冷却等の対応を行った。

12. 食物アレルギー対応

2歳児女児1名。ピーナツ、アーモンド、くるみアレルギーの診断。栄養士、担任と共にAL面談を実施、薬の処方なし。緊急時の搬送先の病院が公立昭和病院となる。

1歳児、男児1名。卵アレルギーの診断。10月に再診し、結果により面談行う。

ニポラジン小児細粒0.6% 0.2g、エピナスチン塩酸塩Ds小児用1%0.4gをお預かりし、アレルギーと接触があった際に、内服させることとなった。3/28に面談実施し、園での対応は4月より卵の提供がなくなるためトレー対応なくなる旨を説明。しかし、完全解除ではないため、今後もアレルギー薬は預かることとなる。

13. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、年に4回5、7、10、1月に、あおぞら福祉センターより専門家が派遣され、午前中該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

5、7、10月は2歳児2名の指導をお願いした。対応や保育に取り入れていくと良いことなどアドバイスを受けた。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

離乳食

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際には、保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し、食事を提供することが出来た。

乳児食

アレルギーによる除去食の希望が3名、途中除去食解除もあったが、年間を通しトレイを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、個々人の発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安 全 管 理

園舎外壁について、塗装のはがれ等が出てきていたため、外壁の塗装の塗り直しを行った。また、固定遊具についても、外装のはがれやバネの耐用年数の問題から、塗装の直しやバネ交換などの対応を行った。

カ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との関連

今年度は、コロナウイルス感染拡大のため、子育てひろば『わくわくひめゆり』、『よちよちひめゆり』ともにd@Z dに見合わせた。

園庭開放については、10月から18回実施し、天候不良のため中止とした日が3日あった

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生を計3名受け入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度はコロナウイルス感染拡大に伴い、例年職業意見を受け入れている小平市立小平第六中学校、小平第三中学校、保谷中学校ともに職業体験授業が中止となったために受け入れはなかった。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

1・健康診断

毎月第1月曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行った。休んでしまった場合は、ひめゆり保育園で健診を実施した。

1歳児は0歳児とともに毎月健診を行った。

いるか組…5月7月9月11月1月

くじら組…6月8月10月12月2月

全園児、年2回以上の健診を行うことができた。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は2歳児に1名、12月は5歳児に2名いた。

3・視力測定

9月（5歳児）・11月（4歳児）・1月（3歳児）に測定を実施した。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育補助を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。結果は年間を通して「陰性」であった。

12月に調理職員4名はノロウイルスの検査も行った。結果は「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を10～11月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。

生活習慣病健診対象は8名。法定健診対象者（35歳以下）は9名。

がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心をもてたのではないかと

思う。

入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

年間で14回の保健だよりを発行した。

7・保健指導

- 6月 歯磨き指導（3歳児・くじら組）
- 9月 食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）
- 11月 うがい指導（いるか組） うがい・手洗い指導（くじら組）
- 12月 手洗い指導（いるか組） 歯磨き指導（4歳児）
- 1月 鼻のかみ方（3・4歳児） 咳エチケット（4・5歳児）
- 2月 歯磨き指導（3歳児）
- 3月 うんちの話（3歳児） 就学にむけて（5歳児）

職員に対して

- 7月 熱性けいれん対応について

8・内服薬と薬状況

熱性けいれん発症予防対応でダィアップ[®]座薬の預かりが1件あった。

9・巡回相談

5月・7月・10月・1月の計4回、あおぞら福祉センターより風間先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・病気・怪我欠席状況

〈入院加療：1件〉

- ・2歳児：5月、呼吸状態悪化のため多摩北部医療センターにて入院加療。

〈感染症まとめ〉

- ・インフルエンザの予防接種は、全園児60名中41名、正規職員は全員実施していた。罹患数は、A型、B型ともに0名であった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で、標準感染予防対策及び、4月からいるか・くじら組の午睡明けの検温、職員の出勤前の検温、体調チェックを開始した。園児、職員ともに37.5℃以上の発熱があった場合には、症状が改善してから24時間は家庭で経過観察をして頂くことを徹底し、予防に努めた。

ウ、栄 養 管 理

各クラス栄養士が栄養指導を行う、離乳食についても細やかな対応を行った。

離乳食については、段階ごとに面談を行い、子ども1人1人に合わせた細やかな栄養指導を行う。また、今年度はアレルギーを疑われる離乳食児童がいたため、初期食から個別に対応している。

今年度入園・在園の児童にはアレルギー対応児が居なかった為、離乳食以外のアレルギー対応は無しである。

※離乳食面談は各期へ上がるごとに行い、保護者や保育士と話し合い、子供の状況に沿って進めた。

・食育について

以下の通りに行った。

	対象クラス	内容	ねらい
6月	いるか	スプーン指導	スプーンの正しい持ち方を知り、持てるようになる
	くじら	配膳の仕方、はし指導	自分でご飯を準備できるようになる 箸を正しく持てるようになる
	全園児	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
8月	いるか くじら	講話(防災食について)	防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知る
	全園児 職員	防災食を食べる	普段の食事との違いを知る 実際に食べる事で、災害にあった時の食事の様子はどんな感じか経験する
	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
9月	くじら	調理保育(さつま芋もち)	収穫から自分の口に入るまでの作業工程を体験し、食べ物を大切に扱う心を育み調理する事を楽しむ ホットプレートの危険性を知り、それをふまえ五歳児はホットプレートを 使いおやつを作る
10月	いるか・くじら	根菜を知ろう	じゃが芋・さつま芋堀の経験より、様々な根菜について資料をもとに 知り、給食の根菜カレーを味わう
11月	いるか・くじら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る (セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)
12月	くじら	観察(給食時)	柚の香りを知る
1月	くじら	調理体験(おにぎり)	自分の作りたいおにぎりを握る
	くじら	調理体験(納豆丼)	カップの中で粘りが出るまで、上手に混ぜる おやつを完成させる
	くじら	卒園児リクエストメニュー	今までの給食を思い起こしメニューを考える
2月			
3月			

・他にも、くじら組で野菜(枝豆、胡瓜、プチトマト)を栽培し、収穫した都度、くじら組にのみ提供

・行事食

保育園の行事や日本の伝統行事に合わせて、行事食を提供した。

6月：小平夏野菜カレー、目の日（小平産ブルーベリー使用）

7月：七夕

9月：お彼岸（おはぎ）

11月：冬至（かぼちゃ）

12月：クリスマス

1月：お正月料理

2月：節分

3月：ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸（ぼたもち）

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安 全 管 理

てんじん保育園の園庭の照明柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職 員 の 処 遇

(1) 健 康 管 理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2) 職 員 会 議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3) 研 修 報 告

コロナウィルスの影響により、ほとんどの研修が中止となってしまう受講することができなかったが、新たに採用された職員は『上級救命講習』を受講すると共に、調理職員2名が新たに『離乳食インストラクター2級』の資格講習を受講し認定を得た。

(4) 福 利 厚 生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。

(5) 地域社会との連携

今年はコロナウィルスの影響により、職業体験や職場体験がすべて中止となってしまった。

3, 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。
別紙決算書の通りである。

4, 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、